SONY

パーソナルコンピューター

VPCCW1 シリーズ
取扱説明書

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書(本書)をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

取扱説明書(本書)

VAIOを使えるようにするための準備や、Windowsが起動していないときの操作、トラブルの解決法、サポート情報などを記載しています。

画面で見るマニュアル

VAIO 電子マニュアル

知りたいこと・わからないことを調べる

取扱説明書(本書)に記載している情報のほか、さらに詳しい情報もたくさん記載しています。検索機能を使って、すばやく便利に目的の操作やトラブルの解決法を見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO電子マニュアル]をクリックする。

VAIO ナビ

目的にあったソフトウェアを探す

目的の項目を一覧から選んでいくことで最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIOナビ]をクリックする。

重要なお知らせ

VAIOを使ううえでご覧いただきたい情報です。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

パーソナルコンピューター

VPCCW1 シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご確認ください。

このマニュアルでは、Windows 7 64ビット版での操作を説明しています。32ビット版がインストールされている場合、実際にお使いの操作とマニュアルの記載とが異なる場合があります。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows 7の画面テーマには、「Aero」や「ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows 7 Home Premium搭載モデル、Windows 7 Professional搭載モデル、およびWindows 7 Ultimate搭載モデルにインストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「地上デジタルチューナー搭載モデル」と書かれているときは、地上デジタルチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認するには、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

目次

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

本機をセットアップする

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

インターネット／メール

Quick Web Access

増設／バックアップ／リカバリー

困ったときは／サービス・サポート

注意事項

安全規制について

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2 適合品です。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリー未搭載でAC アダプターを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線モジュールは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵の無線モジュールを分解／改造すること
- 本機内蔵の無線モジュールに貼られている証明ラベルをはがすこと

レーザー安全基準について

本製品には、レーザーに関する安全基準（JIS C 6802：2005）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

注意

- 本製品の修理・点検が必要な場合は、必ずVAIOカスタマーリンクに依頼してください。
- ここに規定した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

搭載されている光ディスクドライブについて

注意

ここを開くとクラス3B の可視及び不可視
レーザー放射がでます。
ビームの目または皮膚への被爆は危険です。
見たり触れたりしないでください。

最大出力：390 μW (λ650nm),
563 μW (λ780nm), 39 μW (λ405nm)
ビームの発散：0.6 (λ650nm),
0.45 (λ780nm), 0.85 (λ405nm)
パルス幅：連続波

AC電源の遮断について

不具合を感じた場合はすぐにコンセントからプラグを抜けるように、ACアダプターはコンセントの近くでお使い下さい。

バッテリーについて

間違ったタイプに交換すると爆発の危険があります。
使用済の電池は、取扱説明書に従って処分してください。

持ち運び時の注意について

本機持ち運び時における故障や発火の危険を防ぐため、持ち運び時には付属の端子カバーやスロットプロテクター等を適切な場所に取り付け、またバッテリーも取り付けてください。

無線の周波数について

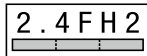
本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

ディスプレイ出力のHDCP対応について

本機は、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応しており、著作権保護を目的にデジタル映像信号の伝送路を暗号化することが可能です。
これにより著作権保護を必要とするコンテンツを再生・出力することが可能となり、幅広いコンテンツを高画質のまま楽しむことができます。
著作権保護されたコンテンツを再生する場合には、HDCP規格に対応したディスプレイが接続されている必要があります。非対応のディスプレイを接続した場合は、著作権保護されたコンテンツは再生または表示できません。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピューターの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピューターの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル
受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] − [お問い合わせ／アフターサービス] − [使用済みコンピューターの回収について] をクリックする。）

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取りはずす

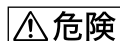
❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

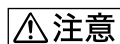
警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

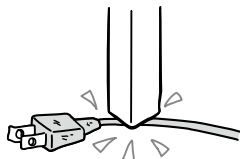
ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取りはずしてください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリーモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「増設する」（47ページ）に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、LANケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。なお、ACアダプターと電源コードは対応する入力電圧が異なる場合があります。ACアダプター・電源コードの記載をご確認ください。
  本機は国内専用です。海外で使用することを動作保証するものではありません。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 本機のワイヤレス機能は国内専用です。
  海外で使うと罰せられることがあります。

LAN端子に指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

本機のLAN端子に次のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、端子に必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

禁止

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

禁止

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を5 GHzワイヤレス機能で使用する場合は、屋外では使用しない

禁止

5 GHzワイヤレス機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやタッチパッドなどを使いすぎない

禁止

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

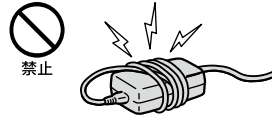
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプターや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプターに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。
また、衣類の上からでも長時間ふれたままになっていると、低温やけどになる可能性があります。

本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

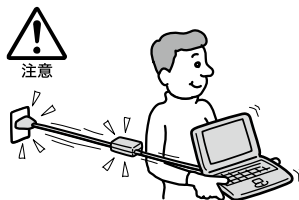
禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

端子はきちんと接続する

注意

- 接続端子の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災の原因となることがあります。
- 端子はまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- 端子に固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

禁止

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

禁止

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

禁止

重いものを載せる、落とす、本機の上に乗るなど、無理な力が加わると、けがや故障の原因となることがあります。

幼児の手の届かないところに置く

指示

"メモリースティック"などを誤って飲み込んだり、ケーブルを首に巻きつけたりすると、事故やけが、故障の原因となります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 本機に付属またはソニーが指定する別売りの純正バッテリーをご使用ください。
- 本書に記載する又はソニーが別途指定する充電方法以外でバッテリーを充電しないでください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 以下のバッテリーを使用した場合、本機、バッテリーまたはACアダプターの発熱や発火等の事故が発生しましてもソニーは責任を一切負いかねます。
  - 本機に付属するまたはソニーが指定する別売りの純正バッテリー以外のバッテリーを使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリーを使用した。
- 性能が低下したバッテリーを使わない。
  バッテリー駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプター、バッテリーが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

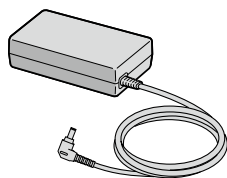
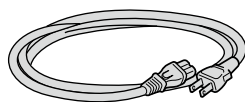
本機やACアダプターが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプターの電源コードを抜き、バッテリーを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

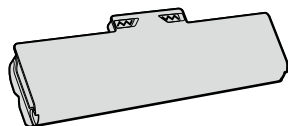
準備1

付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、商品が入っていた箱を捨てる前にVAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

❑ ACアダプター

❑ 電源コード

！ご注意

付属の電源コードは、AC100V用です。

❑ バッテリー

説明書・その他

❑ 取扱説明書（本書）

❑ 主な仕様と付属ソフトウェア

❑ 保証書

修理の際に必要になります。

❑ VAIOカルテ

修理の際に必要になります。

❑ Microsoft® Office Personal 2007*プレインストールパッケージ

（「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ Microsoft® Office PowerPoint® 2007*プレインストールパッケージ

（「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ Microsoft® Office Professional 2007*プレインストールパッケージ

（「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属）

* この説明書では以降、Office Personal 2007、Office PowerPoint 2007、Office Professional 2007と略します。

❑ その他・パンフレット類

大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリーすることができるため、リカバリーディスクは付属しておりません。詳しくは「リカバリーする」（54ページ）をご覧ください。

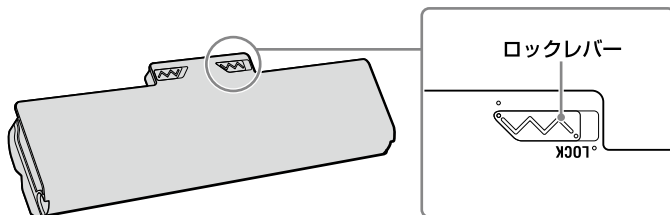
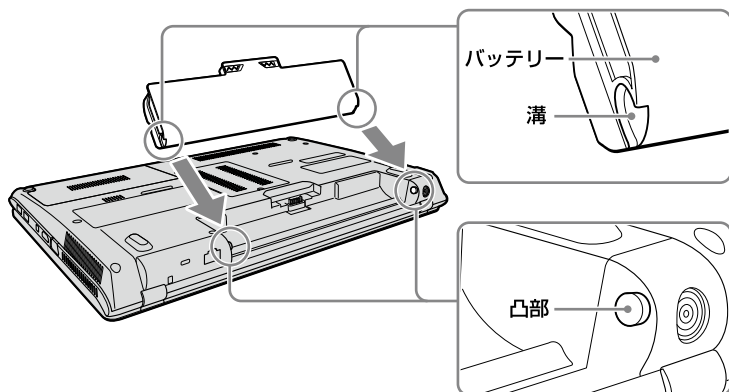
準備2
接続する

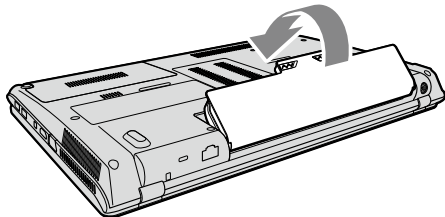
バッテリーを取り付ける

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリーを取り付けます。
あらかじめ「バッテリーについてのご注意」（89ページ）をご覧ください。

バッテリーは、以下の手順で本体後面のバッテリー取り付け部に取り付けます。

1 **液晶ディスプレイを閉じる。**

2 **バッテリーのロックレバーを内側（LOCKと反対側）にずらす。**

3 バッテリー取り付け部両端の凸部とバッテリー両端の溝をあわせる。

4 バッテリーを矢印の方向に回転させながら倒す。

正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

5 ロックレバーを外側（LOCK側）にずらして、バッテリーを固定する。

！ご注意

必ずバッテリーのロックレバーをLOCKにした状態で本機をお使いください。ロックが不充分なままお使いになると、バッテリーがはずれたり、突然本機がシャットダウンされるなど不具合の原因となります。

インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、ISDN回線を利用する方法があります。
インターネットについて詳しくは、「インターネットを始める」（38ページ）をご覧ください。

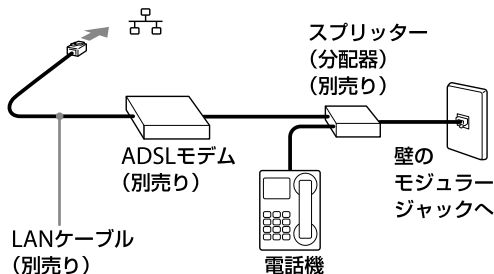
！ご注意

インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ヒント

無線LANでインターネットに接続する場合は、「Windowsを準備する」（27ページ）の手順に従ってWindowsのセットアップを行った後に、無線LANの設定を行ってください。
詳しくは、「無線LANで通信する」（40ページ）をご覧ください。

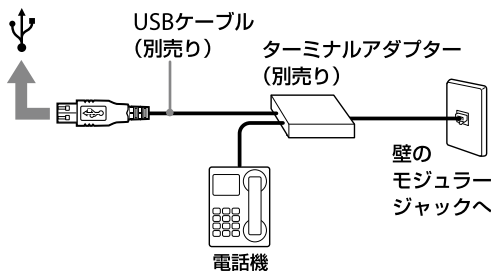
ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは、本機のLAN端子に接続します。

*　ADSLの接続例

！ご注意

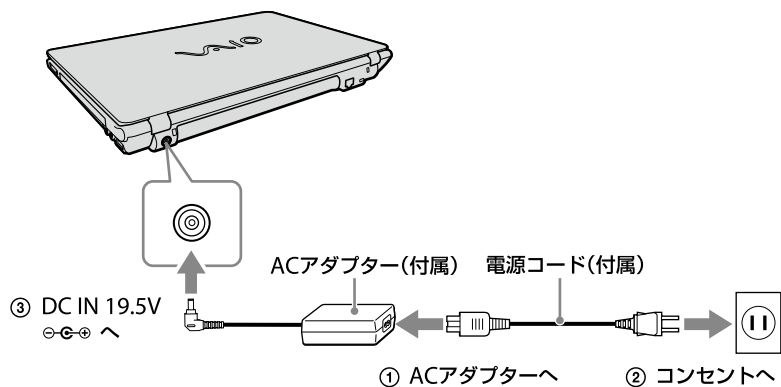
LAN端子に接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときは、本機の (USB)端子に接続します。

！ご注意

接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

電源コードを接続する

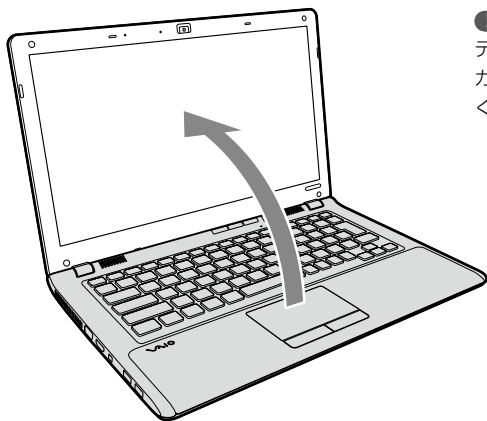
本機と壁のACコンセントを接続します。

1 電源コードのプラグをACアダプターに差し込む。

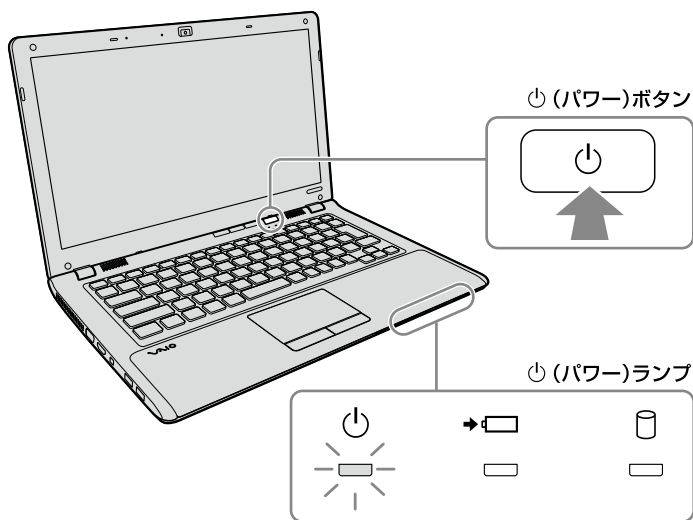
2 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

3 ACアダプターのプラグを、本体後面の DC IN 19.5V ⊖-ⓒ-⊕ 端子に差し込む。

準備3

電源を入れる

1 ディスプレイパネルを開く。

！ご注意
ディスプレイパネルを開くときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）部分は持たないでください。故障の原因となります。

2 ⏻（パワー）ボタンを押し、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら指を離す。

本機の電源が入り、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」（27ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

！ご注意

- 4秒以上⏻（パワー）ボタンを押したままにすると、電源が入りません。
- 本機の液晶ディスプレイの右上部分には磁気を帯びた部品が使用されているため、フロッピーディスクなどを近づけないでください。
- 本体前面の⏻（パワー）ランプ付近に磁気製品などを近づけると、ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、スリープモード（お買い上げ時の設定）に移行します。本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

省電力動作モードについて

本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープ[*1]）。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタン[*2]を一瞬押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリーでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態[*1]）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタンを一瞬押してください。

*1　詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［電源の管理／起動］－［スリープモード／休止状態にする］をクリックする。）

*2　⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

バッテリーを上手に使うには

本機をバッテリーで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリーを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗くした状態で使用するほうがバッテリーを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスリープや休止状態にすることで、バッテリーを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。
  詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［電源の管理／起動］－［スリープモード／休止状態にする］をクリックする。）

準備4

Windowsを準備する

**電源を初めて入れたら、
まずWindowsの準備をしましょう。
Windowsの準備が完了すると、
付属のソフトウェアや
いろいろな機能が使えるように
なります。**

タッチパッドの上で指を動かして、目的の場所の上までポインターを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

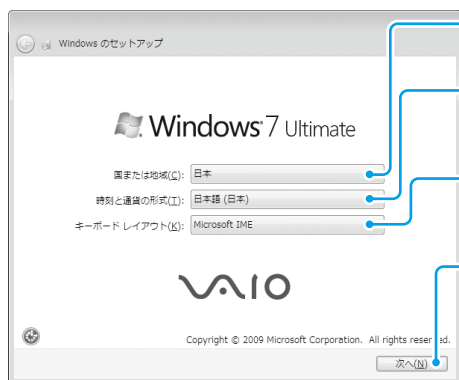
ヒント

- Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。
- 取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

1 電源を入れる。

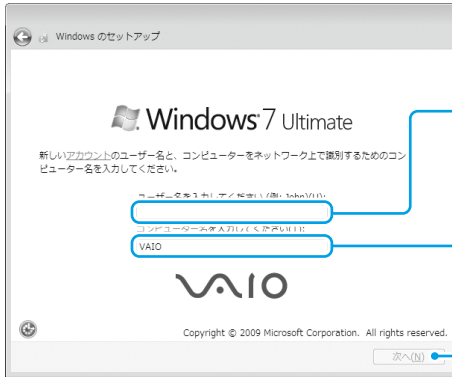
⏻（パワー）ボタンを押し（25ページ）、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。電源を切らずにそのままお待ちください。

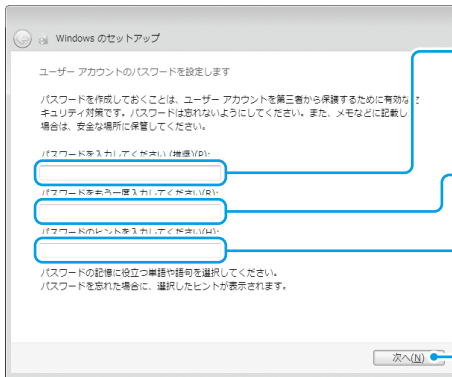
！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

ヒント

- ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。
- 英語キーボードを選択されている場合も、[Microsoft IME]を選択してください。

3 ユーザー名とコンピューター名を設定する。

ヒント

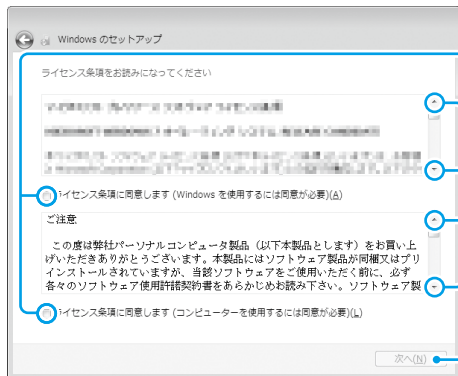
ユーザー名やコンピューター名はWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。

4 パスワードを設定する。

！ご注意

- 入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。入力したパスワードを忘れてしまった場合、リカバリーが必要になります。
- パスワードを入力したときは、パスワードのヒントを入力しないと[次へ]をクリックすることができません。

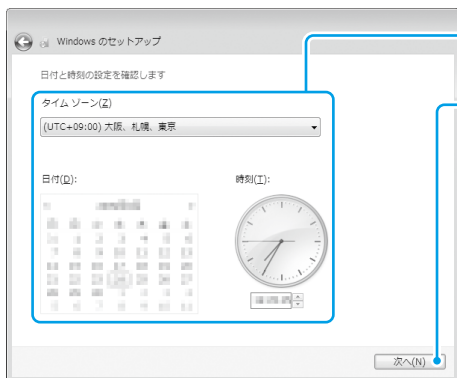
メモ

ヒント

パスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
パスワードの作成／変更／削除について、詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] – [セキュリティー] – [Windowsパスワードを設定する]をクリックする。）

5 「ライセンス条項」の内容を確認する。

ヒント

画面左上の◀ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

6 コンピューターの保護の設定をする。

7 日付と時刻の設定を確認する。

8 無線LANアクセスポイントの準備ができている場合は、ワイヤレスネットワークに接続する。

無線LANアクセスポイントが準備できていない場合は、ここでの接続をスキップすることができます。ワイヤレスネットワークの接続は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。(40ページ)

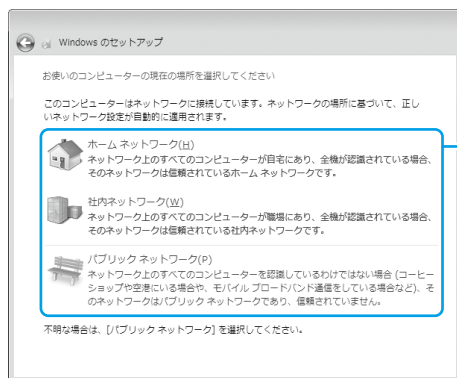
この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

ヒント

「この接続を自動的に開始します」にチェックをすると、次回から、選択した無線LANアクセスポイントを認識したときに自動で接続します。

コンピューターを使用する場所を選択する。

設定が完了するまでしばらくお待ちください。設定が完了すると、自動的にデスクトップ画面が表示されます。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピューターを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

「VAIO をはじめる前の準備」を行う。

画面の指示に従って設定などを行ってください。

ヒント

- 「VAIO をはじめる前の準備」は、完了すると次回からは表示されなくなり、デスクトップ画面上のアイコンも削除されます。
- ［VAIO お引越しサポートを起動する］をクリックすると、今までお使いのVAIOからデータや設定などを転送できます。

リカバリーディスクについて

セットアップが完了すると、リカバリーディスク作成を促すバルーンが表示されます。
リカバリーディスクの作成について詳しくは、「リカバリーディスクを作成する」（51ページ）をご覧ください。

パスワードについて

本機にパスワードなどのセキュリティーのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理（有償）が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理（有償）を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理（有償）でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

セットアップが終わったら

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

❑ Windows Updateを実行してください。

より安定した状態でVAIOをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
（（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。）

❑ VAIO Updateを実行してください。

「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（36ページ）
（[サービスとサポート]－[カスタマー登録／重要情報]－[重要情報を自動的に入手する]をクリックする。）

❑ カスタマー登録を行ってください。

「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（36ページ）
（[サービスとサポート]－[カスタマー登録／重要情報]－[カスタマー登録する]をクリックする。）

❑ リカバリーディスクを作成してください。

パーティションを操作するソフトウェアを使用したり、お買い上げ時以外のOSをインストールしたりすると、リカバリー領域からリカバリーできなくなることがあります。そのような場合に備え、リカバリーディスクを作成してください。リカバリーディスクの作成について詳しくは、「リカバリーディスクを作成する」（51ページ）をご覧ください。

❑ Microsoft Office（Word、Excel）を使いたい。

「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（36ページ）
（[ソフトウェアの使いかた]－[Microsoft Office（Word ／ Excel）]－[Wordを起動する]または[Excelを起動する]をクリックする。）

本機をお使いになる際のご注意

機器の底面や排気口付近は熱くなります。
低温やけどの原因となることがあるため、長時間これらの部分に触れないでください。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 (スタート)ボタンをクリックする。

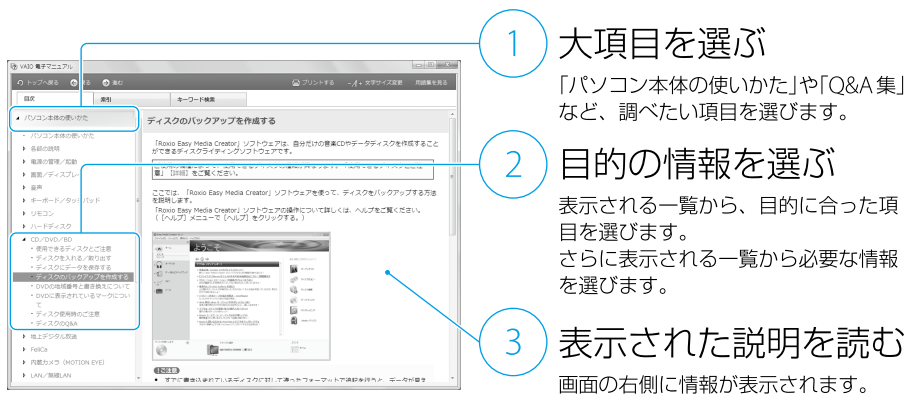
スタートメニューが表示されます。

2 [シャットダウン]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。
液晶ディスプレイを閉じるときは、⏻(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

ヒント
お買い上げ時の設定では、⏻(パワー)ボタンを押すとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリーに保持したまま(お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモード／休止状態にする]をクリックする。)

画面で見るマニュアルの使いかた

「VAIO 電子マニュアル」には、本書よりも詳しい情報を紹介しています。やりたいことがあるけれど、何をどうすればいいのかわからない場合や、トラブルの解決方法を調べる場合などは、「VAIO 電子マニュアル」をご利用ください。
「VAIO 電子マニュアル」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO 電子マニュアルの使いかた

VAIO 電子マニュアルを表示する

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

VAIO 電子マニュアルの基本操作

1 大項目を選ぶ
「パソコン本体の使いかた」や「Q&A集」など、調べたい項目を選びます。

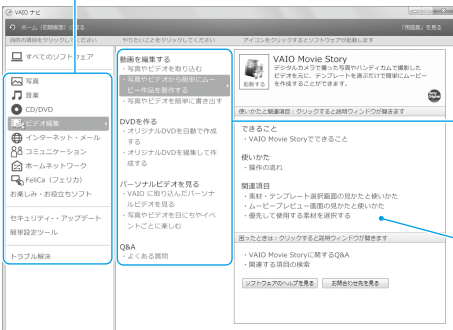
2 目的の情報を選ぶ
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。
さらに表示される一覧から必要な情報を選びます。

3 表示された説明を読む
画面の右側に情報が表示されます。

ヒント
VAIO 電子マニュアルに表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

ソフトウェアの探しかた

「VAIO ナビ」を使うと、使用目的にあった項目をクリックするだけで、最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。
やりたいことが決まっているけれど、どのソフトウェアを起動すればいいかわからないときなどに便利です。
「VAIO ナビ」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO ナビの使いかた

VAIO ナビを表示する

1　(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリックする。

「VAIO ナビ」が表示されます。

VAIO ナビの基本操作

1　**大項目を選ぶ**
「写真」や「音楽」など、やりたいことのジャンルを選びます。

2　**目的の内容を選ぶ**
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。

3　**ソフトウェアを利用する**
ソフトウェアを起動することや、解説を読むことができます。

ヒント
VAIO ナビに表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットは、電話回線などで結ばれたコンピューター同士がネットワークで結ばれ、全世界のネットワークを相互に接続したものです。インターネットを利用することにより、ホームページを見たり電子メールをやり取りすることができます。

インターネットに接続するまでの流れ

手順1

接続する回線の種類を決める

「インターネット接続サービスの種類」を参考にして、接続する回線を決めます（39ページ）。

手順2

プロバイダーと契約する

手順1で決めた回線のサービスを提供しているプロバイダーを選び、契約します。契約が完了すると、プロバイダーからインターネット接続に使用するマニュアルや資料、回線装置などが郵送されてきます。

手順3

回線装置などを接続・設定する

プロバイダーから送られてきたマニュアルに従って、回線装置などを接続し、必要な設定をします。

!ご注意

接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダーから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

手順4(無線LANを使用しない場合)
本機を接続する
「インターネット接続用機器につなぐ」をご覧になり、本機を接続します(23ページ)。

手順4(無線LANを使用する場合)
本機を設定する
「無線LANで通信する」をご覧になり、無線LANに必要な設定をします(40ページ)。

!ご注意

- はじめてインターネットに接続するときは、第三者からコンピューターを守るためのセキュリティー対策を必ず行ってください。
- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダーもあります。
- 接続料金はプロバイダーにより異なります。

インターネット接続サービスの種類

インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダーにお問い合わせください。

FTTH(光)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいはFTTH(光)と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
FTTH(光)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

その他の接続サービス

- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。
- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

インターネット接続に関するお問い合わせ

インターネット接続に関するお問い合わせ先は、お客様の知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダー接続情報 （アカウント名、パスワード、DNSサーバーなど）	プロバイダー
メール設定情報 （メールアドレス、メールアカウントなど）	プロバイダー
コンピューター側の設定	VAIOカスタマーリンク

無線LANで通信する

「インターネットに接続するまでの流れ」の手順3まで終了し（38ページ）、アクセスポイントの電源が入っていて動作している状態で行ってください。
設定について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の［パソコン本体の使いかた］－［LAN ／無線LAN］と、Windowsのヘルプをご覧ください。

1 本体正面のWIRELESSスイッチを「ON」に合わせる。

ワイヤレス機能がオンになり、WIRELESSランプが緑色に点灯します。
デスクトップ画面右下の通知領域にある（VAIO Smart Network）アイコンをクリックして「VAIO Smart Network」ソフトウェアを表示し、無線LANが有効になっていることを確認してください。無効の場合は、有効に設定してください。

2 デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク（またはアイコンをクリックする。

「現在の接続先」画面が表示されます。

3 画面のリストから接続先の無線LANアクセスポイントを選び、[接続]をクリックする。

接続されると、選択した無線LANアクセスポイントの欄に「接続」と表示されます。
リストに接続先の無線LANアクセスポイントが見つからない場合は、(更新)をクリックしてください。
セキュリティー キーを入力する画面が表示されたときは、必要に応じてセキュリティー キーを入力し、[OK]をクリックしてください。
入力時はアルファベットの大文字と小文字が区別されますのでご注意ください。

ヒント
セキュリティー キーを入力していったん接続すると、その無線LANアクセスポイントが登録され、次回以降接続するときはセキュリティー キーを入力せずに接続できます。

4 タスクバーの(Internet Explorer)アイコンをクリックする。

VAIOホームページが表示されたら、インターネットに接続されています。表示されない場合は、「VAIO 電子マニュアル」の[パソコン本体の使いかた]－[LAN ／無線LAN]と、Windowsのヘルプをご覧ください。

接続先を新規に作るには

新規のワイヤレスネットワークに接続する場合は、接続先を作成します。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク(またはアイコンをクリックする。

「現在の接続先」画面が表示されます。

2 [ネットワークと共有センターを開く]をクリックする。

「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。

3 [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックする。

4 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]を選んで、[次へ]をクリックする。

5 お使いになるアクセスポイントに合わせて各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

接続先が追加されます。
切り替え先の無線LANアクセスポイントに接続すると、接続されたメッセージが通知領域に表示されます。

- 「セキュリティの種類」に「認証なし(オープン システム)」以外を選択した場合は、「セキュリティ キーまたはパスフレーズ」の入力が必要です。
- アクセスポイントを認識したときに自動で接続したいときは、[この接続を自動的に開始します]のチェックボックスをオンにします。
- アクセスポイントのネットワーク名(SSID)について、ステルスモードまたはクローズドシステムをお使いの場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックボックスをオンにします。

無線LANの通信を終了するには

WIRELESSスイッチを「OFF」に合わせます。無線LAN機能がオフになり、WIRELESSランプが消灯します。

!ご注意

Bluetooth機能など他のワイヤレス機能が搭載されている場合は、WIRELESSスイッチを「OFF」に合わせると、他のワイヤレス機能もすべて終了します。

インターネットのセキュリティーについて

コンピューターを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピューターを守るためのセキュリティーについてご紹介いたします。

コンピューターウイルスとは

コンピューターウイルスとは、コンピューターに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピューターウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。
コンピューターウイルスの感染経路や被害の例について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[インターネットについてのご注意]－[インターネットのセキュリティーについて]をクリックする。）

コンピューターウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピューターウイルスに感染することはほとんどなくなります。

コンピューターウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピューターウイルス対策用ソフトウェアは、コンピューター内にコンピューターウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピューターウイルス対策用ソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアを設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。
また、お使いの機種によってはスパイウェア対策を行う「Spy Sweeper」ソフトウェアも用意されています。

Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピューターウイルスは、コンピューターウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
「Windowsを準備する」（27ページ）の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

！ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバーの更新はおすすめしません。ドライバーの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバーを更新する場合は、VAIOサポートページ上で提供されるドライバーを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOサポートページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピューターに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティーについて

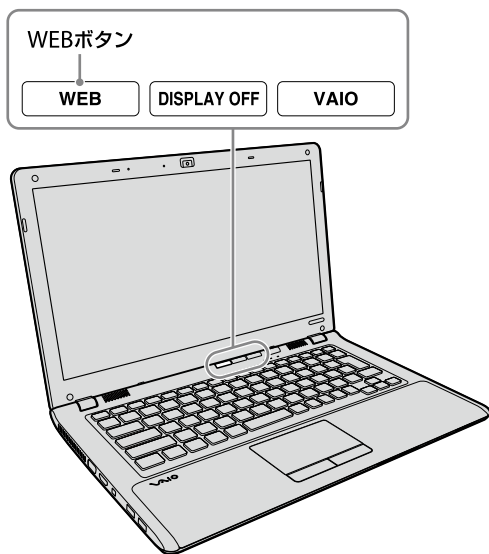
セキュリティーやコンピューターウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティーやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOサポートページ ウイルス・セキュリティー情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティーに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティー専用窓口
電話番号：0120-70-8103（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、
　(0466)30-3016（通話料お客様負担）
受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
（年中無休）
年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

Quick Web Accessとは

「Quick Web Access」機能を使うと、Windowsを起動しなくてもインターネットを楽しむことができます。
使いかたや制約事項について詳しくは、Quick Web Accessのヘルプをご覧ください。

「Quick Web Access」機能を起動するには

1 Windowsを終了してから、本体のWEBボタンを押す。

2 初期設定ウィザードに従って設定する。

初期設定を行うと、次回からWEBボタンを押すだけで「Quick Web Access」機能のブラウザーが起動します。

「Quick Web Access」機能を終了するには

画面左下に表示されている （パワー）をクリックします。

ヒント
WEBボタンまたは⏻（パワー）ボタンを押しても、「Quick Web Access」機能を終了することができます。

ヘルプを表示するには

使いかたについて詳しくは、「Quick Web Access」機能を起動した後に画面左下に表示されている （ヘルプ）をクリックしてください。

「Quick Web Access」機能使用時のご注意

「Quick Web Access」機能の起動中は、Fnキーと組み合わせたショートカットキーは、F2、F3、F4キーのみ有効です。その他のキーとScr Lkキーは使用できません。
また、LAN端子や無線LAN機能、🎧（ヘッドホン）端子、および⭍（USB）端子は使用できますが、その他の端子やメモリーカード類は使用できません。

増設する

メモリーを増設する

メモリーを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
また、2か所以上のスロットにメモリーモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、さらにパフォーマンスが向上します。
お使いの機種のメモリーについては、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

メモリーを増設するときのご注意

- メモリーの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリーの増設を行った場合には、内部端子の接続不備や破損、メモリーの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリー増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリー増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリー増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリー増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてふたを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリーモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリーモジュールの販売元にご相談ください。

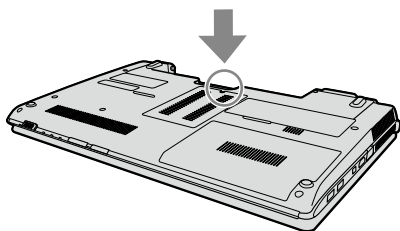
メモリーを取り付けるには

！ご注意

- メモリーモジュールの取り付けは、必ず本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずした状態で行ってください。電源コードやバッテリーを取り付けた状態でメモリーモジュールを取り付けると、メモリーモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリーモジュールを破壊しないように、メモリーモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリーモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリーモジュールを持つときは半導体や端子に触れないようにしてください。
- メモリーモジュールには、向きがあります。メモリーモジュールのエッジ端子の切り欠き部分とスロットの端子（溝の内側）部分の突起の位置を正しく合わせてください。無理に逆向きにメモリーモジュールをスロットに押し込むと、メモリーモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1　本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2　本機を裏返し、底面のふたを開ける。

底面のネジをプラスドライバーで取りはずします。

！ご注意

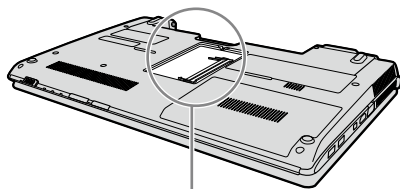
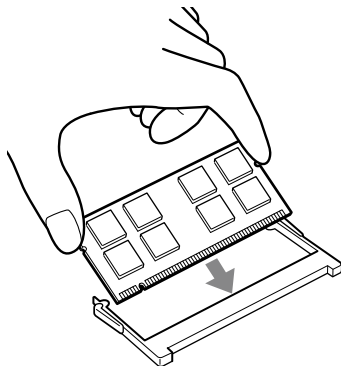
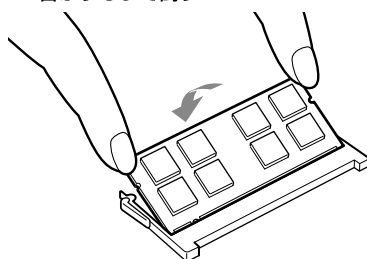
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

3　本機の金属部などに触れて体の静電気を逃がしてから、メモリーモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

4　メモリーモジュールを取り付ける。

① メモリーモジュールのエッジ端子部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリーモジュールをゆっくりと倒す。
メモリーモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリーモジュールの黒いICの部分には触れないでください。

！ご注意

- メモリーモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。
- 取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。

5 **ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。**

6 **手順1で取りはずした電源コードやバッテリーなどを取り付けて、本機の電源を入れる。**

メモリー容量を確認するには

メモリーモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリー容量を確認してください。

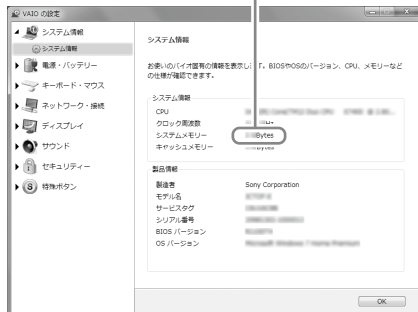
1 **（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO の設定］をクリックする。**

「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 **［システム情報］－［システム情報］をクリックする。**

「システム情報」画面が表示されます。

3 **「システムメモリー」の項目が増設後のメモリー容量になっていることを確認する。**

メモリーの容量が正しければ、メモリーの増設は完了しました。
メモリーの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリーモジュールを取りはずし、もう一度正しく増設の手順を繰り返してください。

メモリーを取りはずすには

！ご注意

- メモリーモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

メモリーモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリーモジュールを破壊しないように、メモリーモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリーモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリーモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

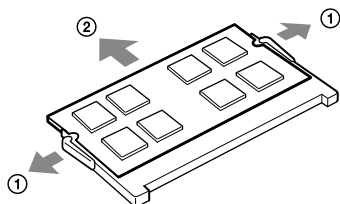
1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 「メモリーを取り付けるには」の手順2を行う。

3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリーモジュールを取りはずす。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① メモリーモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリーモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

5 手順1で取りはずした電源コードやバッテリーなどを取り付ける。

バックアップ

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピューターに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピューターウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。
バックアップについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[増設／ BIOS／バックアップ／リカバリー] − [バックアップについて] − [バックアップとは] をクリックする。）

リカバリーディスクを作成する

リカバリーディスクについて

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリー」といいます。次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリーを行います。

- コンピューターウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリーには、リカバリーディスクを使用する場合があります。リカバリーディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。

！ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクのリカバリー領域の情報を書き替えてしまい、リカバリー領域からリカバリーできなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリーセンター」を使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリーディスクによるリカバリーが必要となりますが、リカバリーディスクを作成していないと、リカバリーディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリーディスクを作成することをおすすめします。

リカバリーディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリーディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。

「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/recoverydisc/

* マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] − [カスタマー登録／重要情報] − [カスタマー登録する] をクリックする。）

！ご注意

- 本機で作成したリカバリーディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリーディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。
  ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリーディスクを作成するには

リカバリーディスクを作成するには、未使用の書き込み可能なディスクが必要です。本機には付属しておりませんので別途ご用意ください。

！ご注意

- ハードディスク上の空き容量が少ない場合は、リカバリーディスクを作成できません。
- Blu-ray Disc、DVD-RAM、CD-RまたはCD-RWはリカバリーディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
- お使いの機種によっては、お買い上げ直後の状態でも空き容量が足りないため、DVD+R DLおよびDVD-R DLでリカバリーディスクを作成できない場合があります。
- ディスクの記録面に触れたり、汚したりしないようにしてください。書き込みや読み取りエラーの原因になります。

ヒント

リカバリーディスクを作成する前に、VAIO Updateを実行して本機をアップデートすることをおすすめします。

VAIO Updateについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] − [カスタマー登録／重要情報] − [重要情報を自動的に入手する] をクリックする。）

VAIO Updateが搭載されていないモデルをお使いの場合は、VAIOサポートページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）からお客様が選択されたモデルに該当するアップデートプログラムをダウンロードし、インストールしてください。

また、本機をリカバリーした際には再びVAIO Updateを実行してください。

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリーディスクを作成してください。

1 （スタート）ボタン − [すべてのプログラム] − [VAIO リカバリーセンター] をクリックする。

「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

2 画面左側の[リカバリーディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

ヒント
画面下部のチェックボックスにチェックを付けると、リカバリーディスクの作成完了後に、ディスクが正しく作成されたかどうかの確認を行います。チェックを付けることをおすすめします。(チェックを付けない場合に比べて処理に時間がかかります。)

5 [次へ]をクリックする。

ヒント
外付けドライブなど複数のディスクドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。使用するドライブを選択して[次へ]をクリックしてください。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリーディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意
- リカバリーディスクの作成状況は、更新されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリーディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

!ご注意
ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

すべてのリカバリーディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリーディスクの作成が完了するとメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリーディスクの作成は終了です。

リカバリー(再セットアップ)

リカバリーする

リカバリーとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリー」といいます。次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリーを行います。

- コンピューターウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリーディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリー領域からリカバリーすることができます。

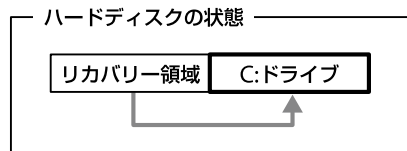
リカバリー領域とは

リカバリー領域とは、リカバリーを行うために必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリー領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリー領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリー領域からリカバリーできなくなる場合があります。

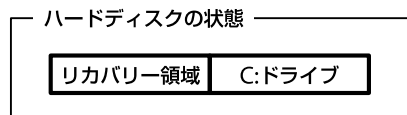
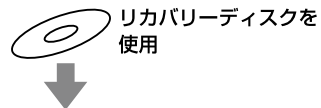
リカバリーの種類

リカバリー方法を次の2種類から選択することができます。通常は、「C ドライブのリカバリー」をおすすめします。

❑ C ドライブのリカバリー

C:ドライブにあるすべてのデータを削除した上で、お買い上げ時の状態に戻します。

C:ドライブのみデータが削除され、リカバリー領域や、追加で作成したパーティションのデータは削除されません。

❑ お買い上げ時の状態にリカバリー

ハードディスク上のすべてのドライブを削除し、パーティションの構成をリカバリー領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。また、パーティションサイズを変更したい場合もこちらを選択してください。

ハードディスク上にあるすべてのデータが削除されます。

!ご注意

- リカバリーで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリー領域を使ってリカバリーしたり、リカバリーディスクの作成が行えないことがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリーディスクを作成してください。（51ページ）

リカバリー前に確認してください

- 本機をリカバリーした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリーする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリーに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリーが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリー後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリー後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリーする際は、必ず最後までリカバリーを行ってください。リカバリーが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリーができなくなる場合があります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてリカバリーできなくなったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

著作権保護されている音楽データなどをバックアップする際のご注意

著作権保護されているデータ（音楽再生ソフトウェアで管理している音楽データ）をバックアップするために、これらのデータを取り込んだ時に使用したソフトウェアの専用バックアップツールが用意されている場合があります。
本機をリカバリーする場合、これらのデータはあらかじめ専用バックアップツールを使ってバックアップしてください。
専用バックアップツールをお使いにならずに、本機をリカバリーし、データを復元しても、著作権保護されているデータは復元できない場合がありますのでご注意ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリーするには

Windowsが起動しない状態でリカバリーするには、以下の2種類の方法があります。

- リカバリーディスクを使ってリカバリーする
  リカバリー領域のデータを破損または削除してしまっている場合に、リカバリーディスクを使ってリカバリーすることができます。ただし、リカバリー領域からリカバリーするよりも時間がかかります。
- リカバリー領域からリカバリーする
  ハードディスクのリカバリー領域からリカバリーするため、リカバリーディスクを使うよりも速くリカバリーすることができます。

ヒント

Windowsが起動する状態でリカバリーする場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[増設／BIOS ／バックアップ／リカバリー]－[リカバリー（再セットアップ）]－[リカバリーする]－[Windowsからリカバリーするには]をクリックする。）

リカバリーディスクを使ってリカバリーするには

1　本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブート マネージャー」画面が表示されます。

2　矢印キーで「VAIO リカバリーセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

3　画面左側の[C ドライブのリカバリー]または[お買い上げ時の状態にリカバリー]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント

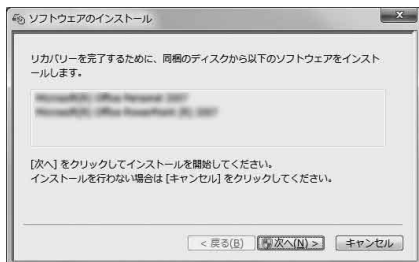
- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。(58ページ)
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリーを行う前にハードウェア(CPU、メモリー、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。
- リカバリー領域を削除していない場合は、複数のリカバリーディスクのうち、一部を使用せずにリカバリーが完了することがあります。

Windowsのリカバリーが完了すると、本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

4　「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」(27ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリーが完了しました。Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

!ご注意

- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。

② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXE の実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。

④「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピューターからすべて実行]をクリックする。

⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。

⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

⑦ Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックする。
引き続き、画面の指示に従いOffice PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順②から⑥と同じ手順でインストールしてください。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。
（59ページ）

リカバリー領域からリカバリーするには

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

ブートオプション（Boot Options）を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
以降、リカバリーディスクを使ったリカバリーの手順3からの操作と同様です。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。
（59ページ）

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスク上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD ／ DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスク上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー(バックアップ)するには

!ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
ブートオプション(Boot Options)を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 矢印キーで「VAIO リカバリーセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
  中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から3の操作を行い、[中断した作業を再開する]チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダーやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダーを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 手順に従って進み、[開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

!ご注意
音楽再生ソフトウェアで管理している音楽データや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保証はいたしません。

ヒント
復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダーから移動してお使いください。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、次のいずれかの解決方法をお試しください。また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（64ページ）

コンピューターが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
コンピューターが動作するときは、「VAIO 電子マニュアル」からも調べられます。

ハードウェアの簡易診断について
ハードウェアを簡単にチェックするためのソフトウェアとして、ハードウェア診断ツールがインストールされています。起動するには、（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリーセンター］をクリックして、表示された画面で［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

2 電子マニュアルを調べる

取扱説明書（本書）より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（78ページ）

見るには

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックしてください。

「Windowsヘルプとサポート」をご覧ください。（80ページ）

「Windows ヘルプとサポートを見る」（80ページ）をご覧ください。

各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（80ページ）

!ご注意

本マニュアルの「サービス・サポート」の記載内容は、2009年6月時点での情報（予定を含む）です。
内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

3 VAIOサポートページで調べる

「VAIOサポートページで調べる」をご覧ください。（81ページ）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOサポートページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

4 電話で問い合わせる

1～3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。（81ページ）

❑ VAIOの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOに関する使いかたなどのお問い合わせは、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」で承ります。

電話番号や営業時間など詳しくは、「電話で問い合わせる」（81ページ）をご覧ください。

❑ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（85ページ）をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。

本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

よくあるトラブルと解決方法

電源／起動

Q 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯しないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A バッテリーが正しく装着されているか確認してください。（21ページ）

A 本機とACアダプター、ACアダプターと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。（24ページ）

A バッテリーの残量がまったく無い可能性があります。
バッテリーの充電について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] − [電源の管理／起動] − [バッテリーの充電／表示の見かた] をクリックする。）

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラーが停止している可能性があります。
ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（充電ランプがすばやく点滅している）

A バッテリーが正しく装着されていない可能性があります。
いったんバッテリーを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（21ページ）

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリーは本機では使用できません。
バッテリーを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが、画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた] − [キーボード／タッチパッド] − [Windowsキー／ Fnキーを使う]をクリックする。)

A メモリーモジュールの増設が正しく行われていない場合は、起動できないことがあります。
サポート対象外のメモリーモジュールを取り付けた場合や取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。メモリーモジュールの取り付け直しを行ってください。
ソニー製の対応メモリーモジュール以外のメモリーモジュールをお使いになる場合は、販売店またはメモリーモジュール製造メーカーにお問い合わせください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
  データが未保存の場合は、「保存しますか?」というメッセージが表示されるので、[保存する]などをクリックしてデータを保存してください。
  「Windows のシャットダウン」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上のリストから[シャットダウン]を選択して[OK]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows 7は、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバーによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

A 「設定を保存しています」または「シャットダウンしています」などと表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

A 「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。
ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。
また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (シャットダウン)ボタンをクリックする。
- 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプターとバッテリーをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリーで本機を使用中にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。
ACアダプターで使用するか、バッテリーを充電してください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理/起動]－[バッテリーの充電/表示の見かた]をクリックする。)

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリーが正しく装着されていない可能性があります。
本機の電源が切れたあと、いったんバッテリーを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。(21ページ)

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリーは本機では使用できません。
システムに異常があります。本機の電源が切れたあと、バッテリーを取りはずし、純正の新しいバッテリーと交換してください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A Windowsの準備をしようとすると「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示される場合、「Windowsのセットアップ」画面が表示される前に電源を切ってしまった可能性があります。
「Windowsが起動しない状態でリカバリーするには」(55ページ)の手順に従って、リカバリーを行ってください。

A 「Remove disks or other media. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System Not Found」と表示される場合は、USB機器の接続状態について確認してください。

- USB接続のフロッピーディスクドライブやCD ／ DVDドライブに、起動ディスク以外のディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
- ハードディスクドライブまたはフラッシュメモリーなどの起動可能なUSB機器が接続されている場合は、いったんUSB機器を取りはずしてから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリー機能や自作のリカバリーディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリーしてください。

A パスワードを3回間違えて入力すると、「Enter Onetime Password」と表示されWindowsが起動しません。

本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

なお、パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力してください。

A 「Checking file system on C:」と表示される場合、起動するまでしばらくお待ちください。

A 「Windows Error Recovery」と表示される場合、「Start Windows Normally」が選択されていることを確認し、Enterキーを押してください。

Q 電源を入れてもWindowsが起動しない。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、次回電源を入れた際に「Windows Error Recovery」（黒い画面）が表示されます。

その場合は、「Start Windows Normally」が選択された状態でEnterキーを押してWindowsを起動させてください。

Q 充電ランプの表示について知りたい。

A バッテリーの動作状態により、充電ランプの表示が異なります。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] − [電源の管理／起動] − [バッテリーの充電／表示の見かた]をクリックする。）

パスワード

Q Windowsパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピューターの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されていない場合、パスワード設定を解除することはできません。「リカバリーする」(54ページ)の手順に従って、リカバリーを行ってください。

Q BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A ディスプレイの電源が切れている、またはディスプレイのバックライトが消灯している場合があります。
タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] − [キーボード／タッチパッド] − [Windowsキー／ Fnキーを使う] をクリックする。）

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープモード）。
キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリーでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタンを一瞬押してください。
ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] − [電源の管理／起動] − [電源オプションを変更する] をクリックする。）

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

Q 画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① Ctrlキー とAltキーを押しながらDeleteキーを押し、［タスク マネージャーの起動］をクリックする。
「Windows タスク マネージャー」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャー」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、［タスクの終了］をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② Ctrlキー とAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の（シャットダウン）ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻（パワー）ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻（パワー）ランプが消灯します。⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

！ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

文字入力／キーボード

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A (Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock(ナムロック)が有効になっている場合があります。
点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A 英語配列キーボードをお使いの場合は、Altキーを押しながら[`]キーを押すと、日本語入力モードと英字入力モードを切り替えることができます。

Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

A 次の手順でドライバーの設定を変更してください。
なお、この操作は「コンピューターの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから行ってください。

!ご注意

- 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- ソフトウェアによって使用方法などが変わる場合があります。
  これについてはサポートできない場合があります。
- ここに記載する手順は他国語対応のOSやソフトウェアを使用できるようにするものではありません。
- MS-IME 使用上の主なご注意点
  - IMEの起動・終了操作は[Alt]＋[`]となります。
  - ローマ字入力／かな入力の切替えを[Alt]＋[ひらがな]ではできません。
    ツールバーから設定してください。
  - 無変換キーがありませんので、かな、英数の各トグル変換はできません。
  - 変換キーがありませんので、日本語入力時の変換はスペースキーをご使用ください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
② [システムとセキュリティ]をクリックする。
③ 「システム」の[デバイス マネージャー]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
「デバイス マネージャー」画面が表示されます。
④ [キーボード]をダブルクリックする。
⑤ [標準 PS/2 キーボード]（または[101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2]や[日本語 PS/2 キーボード（106/109）]）を右クリックして、[ドライバー ソフトウェアの更新]を選択する。
「ドライバー ソフトウェアの更新」画面が表示されます。
⑥ [コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します]をクリックする。
⑦ [コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します] をクリックする。
⑧ [互換性のあるハードウェアを表示]のチェックボックスをクリックしてチェックをはずし、[標準 PS/2 101/102 キーボード]を選択して、[次へ]をクリックする。
ドライバーの更新警告画面が表示された場合は[はい]をクリックします。
⑨ 「ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。」と表示されるので、[閉じる]をクリックする。
⑩ 「システム設定の変更」画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
コンピューターが再起動します。再起動後に、キーボード配列が英語キーボードになります。

タッチパッド

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。
タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。
設定を変更してもタッチパッドが有効にならないときは、本機を再起動してください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[タッチパッドの応用操作]をクリックする。）

Q ポインターが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインターが動きにくくなる場合があります。
しばらく待ってから、もう1度ポインターを動かしてください。

それでもポインターが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の（シャットダウン）ボタンをクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の（矢印）ボタン－[再起動]をクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった。

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリー機能や、ご自分で作成したリカバリーディスクを使って、本機をリカバリーする必要があります。（54ページ）

CD ／ DVD ／ BD

Q ディスクの読み込み･再生ができない、ドライブがディスクを認識しない。

A 本機で使用できるディスクかどうか確認してください。（93ページ）

A ディスクが正しくトレイに置かれているか確認してください。
ディスクは文字や画像が書いてある面を上にして入れてください。
ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] − [CD ／ DVD ／ BD] − [ディスクを入れる／取り出す] をクリックする。）

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A 本機での動作を保証しているドライブか確認してください。
本機での動作を保証しているのは、以下のドライブとなります。
- 本機をお買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

A 後からインストールした、ディスクの再生・書き込みソフトウェアをアンインストールしてください。
お買い上げ時にプリインストールされているソフトウェア以外のディスク再生・書き込みソフトウェアなどを追加でインストールしている場合、正常にディスクが認識されないことやディスクに書き込めないことがあります。
この場合は、追加したソフトウェアを一度アンインストールしてご確認ください。アンインストールの方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプまたはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

インターネット

Q インターネットに接続できない。

A プロバイダーとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダーと契約する必要があります。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダーにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダーから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」(23ページ)をご覧ください。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[インターネット]で[インターネット接続]または[ホームページ]をクリックする。)

Q 無線LANが使えない。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[パソコン本体]－[LAN/無線LAN]をクリックする。)

Quick Web Access

Q 「Quick Web Access」機能を使いたい。

A 「Quick Web Access」機能については、「Quick Web Accessとは」(45ページ)をご覧ください。

Q 「Quick Web Access」機能が起動しない。

A Windowsが終了している状態以外からは「Quick Web Access」機能を起動することはできません。

休止状態やスリープモードの場合は、Windowsの電源を切ってから、「Quick Web Access」機能を起動してください。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」で検索する

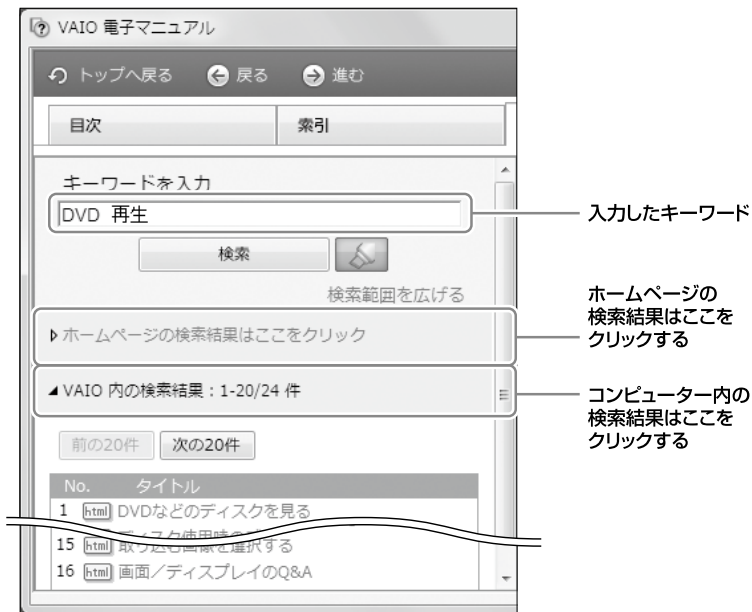
「VAIO 電子マニュアル」では、取扱説明書(本書)より詳しい情報を掲載しています。
「VAIO 電子マニュアル」を起動して、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。
検索機能を使うと、「VAIO 電子マニュアル」の情報だけでなく、付属ソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネット接続時はVAIOサポートページからも情報を検索できます。

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。**

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 **トップページまたは「キーワード検索」ページの検索窓に、調べたいキーワード(単語)を入力し、[検索]をクリックする。**

画面左側に検索結果が表示されます。

入力欄に複数のキーワード（単語）をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
（例：DVD　再生）

［次の20件］をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
［前の20件］をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」やヘルプのトピックは、画面右側に表示されます。
VAIOサポートページの内容は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

(スタート)ボタン－[ヘルプとサポート]をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「VAIO 電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]の表にあるソフトウェア名をクリックして表示される画面には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント

ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

その他のサービスとサポート

VAIOサポートページで調べる

VAIOサポートページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

製品別の最新情報やよくある質問、Q&Aの検索サービスをご提供しています。詳しくは、「VAIO電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート]－[VAIOサポートページ]－[VAIOサポートページで調べる]をクリックする。）

電話で問い合わせる

「使い方相談窓口」のご利用について

「使い方相談窓口」は、VAIOをご購入された日から1年以内のお客様は無料でご利用いただけます。2年目以降のお客様によるご利用は有料です。
「使い方相談窓口」をご利用いただく前に、VAIOサポートページ「使い方相談サポートご利用規約」をお読みください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/terms.html
音声ガイダンスの操作手順に従ってクレジットカード情報をご入力いただく場合があります。ただし、ご入力いただいた時点では課金されません。
お問い合わせが有料となる場合は、課金の前にオペレーターよりご案内いたします。

❑ 無料と有料の区分

VAIOご購入日から1年間	無料 （カスタマー登録が必要）
VAIOご購入日から 2年目以降	有料 （1案件：2,100円）

❑ お支払方法

クレジットカードでのお支払いとなります。ご利用可能なカード会社は、VISA/MasterCard/JCB/AMERICAN EXPRESS/ダイナースです。

❑ VAIOサポートチケット（3回チケット）

3案件分のサポートをお得な料金でご利用いただける、3回チケットもご用意しています。詳しくはオペレーターにご相談ください。

3回チケット：5,250円（税込）

※チケットの有効期限は、チケットの購入日から1年間です。

※VAIOサポートチケットは電子チケットです。紙のチケットがお手元に届くわけではありません。あらかじめご了承ください。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

VAIOサポートページ「電話で問い合わせ」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

電話番号：（0120）60-3399（フリーダイヤル）

（ロクゼロ　サンサンキュウキュウ）

※VAIOカスタマー登録がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間 平日：9時～ 18時　土曜、日曜、祝日：9時～ 17時　（365日年中無休）

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。**
- **VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。電話番号や受付時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

ヒント

音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。

メールで問い合わせる／ FAXで取り寄せる

VAIOサポートページ「メールで問い合わせ」
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/mail/

VAIOサポートページで質問を受けつけ、電子メールで回答を差し上げるサービスです。（VAIOの使いかたなど技術的な質問に限ります。）

詳しくはホームページをご覧いただくか、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] – [お問い合わせ／アフターサービス] – [メールで問い合わせる／ FAXで取り寄せる]をクリックする。）

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

❑ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

❑ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

❑ 修理について

当社ではパーソナルコンピューターの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りに伺い、修理完了後にお届けします。詳しくは、次の「修理を依頼されるときは」をご覧ください。

❑ 部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。修理を依頼される前に、下記のご確認をお願いします。

- 「VAIO 電子マニュアル」や「VAIOサポートページ」などで、お使いのVAIOの症状に合うものがないかご確認ください。

❑ VAIOサポートページ「故障とお考えの前に」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/qa.html

修理について、詳しくはVAIOサポートページ「修理ご相談」（http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/qa.html）をご覧いただくか、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] − [お問い合わせ／アフターサービス] − [修理を依頼されるときは] をクリックする。）

❑ 海外での修理について

お買い求めいただいたVAIOは、VAIO International Repair Service（VAIO国際修理サービス）の対象機種です。

VAIOのご購入日から1年間は、海外の本サービス対象国および地域においても、保証規定にのっとり、無償で修理を行います。サービス内容やご利用方法など詳しくは、本機に付属の冊子「VAIO International Repair Service（VAIO国際修理サービス）のご案内」をご覧ください。

「VAIOカスタマーリンク修理相談窓口」

電話番号：（0120）60-5599（フリーダイヤル）

（ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3030（通話料お客様負担）

受付時間：平日：9時～ 20時

土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

（365日年中無休）

※年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や受付時間は変更になる場合があります。

ヒント

- 音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。
- 通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。（一部機種・地域を除く。2009年6月現在）

法人向け修理相談窓口のご案内

「VAIOビジネスクライアントサポートデスク」（法人のお客様専用）

電話番号：（0120）30-6065（フリーダイヤル）

（サンゼロ　ロクゼロロクゴー）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3035（通話料お客様負担）

受付時間：平日：10時～ 18時（土日祝日休み）

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://sony.jp/vaio/myvaio/

VAIOの情報はもちろん、ウェブ検索、ニュース、天気など毎日使える情報が満載です。VAIOカスタマー登録していただいたお客様に無料で提供する優待プログラムもご用意しています。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「VAIO 電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

ヒント

本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。
付属のソフトウェアを確認するには、付属の「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧になるか、または（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］にポインターをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

1 **（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックする。**

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 **「VAIO 電子マニュアル」の［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先］をクリックし、表示されたソフトウェア名をクリックする。**

!ご注意

- Windows 7は、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピューターの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。本機の故障の原因となります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

使用に適さない場所について

次のような場所で本機を使用すると故障の原因となることがあります。

- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所。
- 振動する場所や不安定な場所。
- ほこり、湿気の多い場所。
- 風通しが悪い場所。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です)。また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。
- 液晶ディスプレイを閉じた状態でディスプレイパネル部分に力を加えないでください。液晶ディスプレイに汚れや傷が付くことがあります。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。
全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記憶ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

また、万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機内蔵の無線LAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。
- 無線LANではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。セキュリティー対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。詳細については、http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.htmlをご覧下さい。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 5 GHz無線LAN機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯の無線LAN機能と5 GHz帯の無線LAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gおよびIEEE 802.11n（2.4 GHz）は、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

ACアダプターについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプターをご使用ください。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプターは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリーについてのご注意

バッテリーについて

- 付属のバッテリーは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリーをご使用ください。
- 高温時、低温時は、安全のために充電を停止することがあります。
- AC電源につないでいるときは、バッテリーを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリーをお使いになるときは

付属のバッテリーは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリーが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリーの放電について

バッテリーは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、バッテリー駆動時間が短くなる場合があります。使用前には、再度、充電することをおすすめします。

バッテリーの駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使用状況および設定等により変動します。

バッテリーの性能低下と交換について

バッテリーは、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が低下していきます。このため、充分に充電を行ってもバッテリー駆動時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

バッテリー駆動時間が短くなってきた場合には、バッテリー寿命を確認し、弊社指定の新しいバッテリーと交換をしてください。

バッテリー寿命の確認方法について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] − [電源の管理／起動] − [バッテリーの充電／表示の見かた] をクリックする。）

バッテリーの交換に関しご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

省電力動作モードでお使いのときは

スリープモード時にバッテリーが消耗すると、スリープモードに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スリープモードに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリーが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプターを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリーの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
長時間席をはずすときなどにバッテリーが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
バッテリーでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

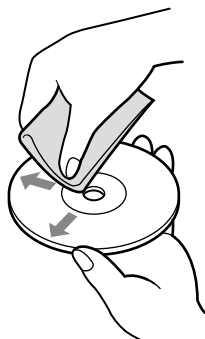
本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプターとバッテリーを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

ディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ(MOTION EYE)のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、レンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピューターを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリー機能や自作のリカバリーディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクのデータを完全に消去する
  詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] − [ハードディスク] − [ハードディスクのデータを完全に消去する] をクリックする。）
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOサポートページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

－：再生、記録不可

ディスクの種類	DVDスーパーマルチドライブ	ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）	DVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ
CD-ROM	○	○	○
Video CD	○	○	○
Music CD	○	○	○
CD Extra	○	○	○
CD-R/RW	◎ *5	◎ *5	◎ *5
DVD-ROM	○	○	○
DVD-Video	○	○	○
DVD-R/RW	◎	◎	◎
DVD+R/RW	◎	◎	◎
DVD+R DL（Double Layer）	◎	◎	◎
DVD-R DL（Dual Layer）	◎	◎	◎
DVD-RAM *1 *2	◎	◎	◎
BD-ROM	－	○	○
BD-R/RE *3	－	◎ *4	○

*1 DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*2 DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

*3 BD-RE Ver.1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用できません。

*4 BD-R Part1 Ver.1.1/1.2/1.3（1層 25Gバイト、2層 50Gバイト）、BD-RE Part1 Ver.2.1（1層 25Gバイト、2層 50Gバイト）の書き込みに対応しています。

*5 Ultra Speed CD-RWのディスクは書き込みできません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ +RW ／ DVD-R ／ -RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。

- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生・録音を前提として設計されています。DualDisc及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはCD規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。
- ブルーレイディスクでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術AACSを採用しています。ブルーレイディスクを継続的にお使いいただくためには、定期的にAACSキーを更新することが必要です。AACSキーは録画・編集・再生ソフトウェアが表示するメッセージに従いインターネットに接続することで更新することができます。更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの録画・編集・再生ができなくなる可能性があります。なお、著作権保護されていないコンテンツの録画・編集・再生には支障はありません。本機にインストールされて提供されたブルーレイディスク録画・再生ソフトウェアは製品出荷開始後5年間はAACSキーの更新を行うことができます。それ以降の対応につきましては弊社ホームページでご案内します。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 本機では、ソフトウェアを用いてブルーレイディスクを再生（デコード）しています。このため、ディスクによっては操作、および機能に制限があったり、CPU性能などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちすることがあります。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 映画などのBD-ROMコンテンツには、地域（リージョンコード）の設定が必要です。選択した地域と異なる設定のディスクは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- HDMI、DVIなどのデジタル接続をする場合、接続するディスプレイがHDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない場合は、著作権保護されたブルーレイディスクの映像を表示できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 再生するブルーレイディスクによっては、アナログ出力での解像度が制限される場合や、出力ができない場合があります。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD-R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- 本機で作成したBD-R ／ BD-REは、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイレコーダーでは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。

書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピューターのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティーや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティーなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやタッチパッドの操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピューターやネットワークにアクセスしないでください。
- ACアダプターまたは電源コードの取り付け／取りはずしを行わないでください。

索引

* 別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ" "はソニー株式会社の商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "PetaMap"および「ペタマップ」は、ソニースタイル・ジャパン株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、クウジット株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所が開発し、クウジット株式会社がライセンスを行っている技術です。
- 「iモード」、「おサイフケータイ」および「トルカ」は株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Centrino Inside、Intel Viiv、Intel Viiv ロゴ、Intel vPro、Intel vPro ロゴ、Celeron、Celeron Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Viiv Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Outlook、PowerPoint、Office ロゴ、Encarta、Encartaロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- NVIDIA、NVIDIAロゴ、GeForceは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号 はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- ExpressCard(TM)ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association(PCMCIA)の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- TDKはTDK株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、Lightroom、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- Equaliser for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) Sonnox Ltd.
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピューターに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、VAIOを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

VAIOの最新サポート情報を提供

VAIOサポートページ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは81ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://sony.jp/vaio/myvaio/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とVAIOの各種サービスをご覧いただけます。

VAIOの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://sony.jp/vaio/

VAIOのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

ロクゼロ サンサンキュウキュウ
(0120) 60-3399
(フリーダイヤル)

※ VAIOカスタマー登録がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
(365日年中無休)
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
- VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。
- お電話の前に本機の型名をご確認ください。
(保証書または本機IDラベルに記載されています。本機IDラベルについては、本機の液晶ディスプレイ右下をご覧ください。)

お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「電話で問い合わせる」(81ページ)をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ
(0466) 38-1410

受付時間
平日：9時～ 20時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
(年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。)

有料サービス

My VAIO(http://sony.jp/vaio/myvaio/)では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ セミナー・個人レッスン
VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制できめ細かく学べる各種セミナーやご自宅でじっくり学べる訪問個人レッスンをご用意しています。

■ VAIO設置設定サービス
スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート(初期設定/インターネット設置/無線LAN設定/データ移行など)を行うサービスです。

※ このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO(http://sony.jp/vaio/myvaio/)をご覧ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」
電話番号（0120）60-3399

※フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
※VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、
「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。
※お電話の前に本機の型名をご確認ください。

詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOサポートページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://sony.jp/vaio/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

4-163-564-**01** (1)